

## 今週（7月18日から7月21日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、新しい積み期間に入り、各業態の資金調達意欲は落ち着いて推移するなか、18日の積み初日より徐々にレート水準が低下する展開となった。

無担保コールO/N物は、週初18日(火)は▲0.055～▲0.04%近辺で取引が行われた。その後は、全体的にレートを引き下げる動きが広がり、出会い水準も徐々に低下していく展開となった。特に21日(金)は、オファーサイドに資金運用ニーズの高まりが見られたことから、出会い水準は▲0.075～▲0.065%と週間で最も低い水準となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.065～▲0.05%近辺で引き合いが見られた。

日銀当座預金残高は、532兆円台から始まり、週末となる21日には気候変動対応オペ残高の増加により530兆円台後半となる見込みとなった。

### ●レポ市場

今週のGCT/Nは、▲0.095～▲0.085%での出会いとなった。積み期間の序盤となるなか、ビッドサイドの資金運用姿勢が強まり、レート目線は前週対比で若干低下して推移した。

SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、19日に1Y物の入札が実施され、按分落札利回り▲0.1109%、平均落札利回り▲0.1218%と弱めの結果となった。入札結果を受けて、その後の1Yゾーンは軟調な推移となった。21日に実施された3M物の入札は、按分落札利回り▲0.1042%、平均落札利回り▲0.1210%と弱い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、無難に推移した。

なお、今週は短国買入オペのオファーは見送られた。

### ●CP市場

今週のCP市場は、石油、鉄鋼、小売など複数の業態から大型発行が実施され、週間の金額ベースでは発行超のマーケットとなった。

市場発行残高は、堅調な発行を背景とし、19日には6月26日以来となる27兆円台を回復した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄では概ね0%程度での出会いが中心であった。一方で残高が膨らんだ銘柄については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/17 (月)						
7/18 (火)	32,493.89	0.480	138.80	△ 0.048	△ 0.090	5,324,000
7/19 (水)	32,896.03	0.460	138.99	△ 0.052	△ 0.091	5,338,000
7/20 (木)	32,490.52	0.458	139.60	△ 0.061	△ 0.093	5,341,100
7/21 (金)	32,304.25	0.475	140.00	△ 0.070	△ 0.096	5,375,300

## 来週（7月24日から7月28日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/24 (月)					
7/25 (火)		40Y 7,000億円 7/26発行	交付税借入 12,000億円 8/4借入		米FOMC(1日目) 5月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 7月の米CB消費者信頼感指数
7/26 (水)	月例経済報告(内閣府) 6月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 5月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				米FOMC(2日目) 6月の米新築一戸建て販売件数
7/27 (木)	日銀金融政策決定会合(1日目 14:00~)	TB3M 58,000億円 7/31発行	2Y 29,000億円 8/1発行	交付税借入 12,000億円 8/8借入	ECB定例理事会(金融政策発表) 4-6月期の米GDP速報値 6月の米耐久財新規受注
7/28 (金)	日銀金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 7月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)				6月の米個人所得・消費支出(PCE)

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/24 (月)	300	8,300	8,600	国債補完 CP買入 社債買入	40,100 ▲ 400 ▲ 100	1,000	40,600	49,200	TB3M発行▲58,000償還63,000 流動性供給▲5,000
7/25 (火)	▲ 500	11,000	10,500				0	10,500	交付税借入▲13,000期日13,000
7/26 (水)	1,000	▲ 7,000	▲ 6,000				0	▲ 6,000	40Y発行▲7,000
7/27 (木)	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
7/28 (金)	500	900	1,400				0	1,400	
週間合計	300	15,200	15,500	—	39,600	1,000	40,600	56,100	

7/24は日銀予想、7/25以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き各業態とも資金調達意欲は弱いと思われる、▲0.07%前後で推移すると予想される。債券レポ GC T/N物は、27日から28日に政策決定会合が開催されるなか、▲0.100~▲0.085%のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、27日に3M物の入札実施が予定されている。また、25日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、26日にCP等買入オペが予定されているなか、27日には月末の集中発行も見込まれ、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、27日から28日に日銀金融政策決定会合、28日に展望レポート、7月の都区部消費者物価指数、海外では、25日から26日にFOMC、27日にECB、4-6月期の米GDP速報値、28日に6月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入